



電子学術資料の利活用

研究者による利用事例と図書館への期待

第18回
図書館総合展
フォーラム
2016

- 日 時 2016年11月10日(木) 10:00-11:30 (受付開始 9:40)
- 会 場 パシフィコ横浜 第4会場 (アネックスホール 204)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1
- 講演者 早稲田大学理工学術院 准教授 山口潤一郎 先生
- 主 催 シュプリンガー・ネイチャー

開催趣旨

学術資料の電子化が進んだ現在、利用者が図書館に足を運ぶことは少なくなったと言われています。また、大学図書館の役割もコレクション構築にとどまらず、より利用者、研究者の近くに寄り添ったものに変化すべきと言われています。

本年のフォーラムでは、国内私立大学の中でも最大規模を誇り、電子ジャーナルのみならず Springer eBooksのほぼすべてが利用できる図書館を有する早稲田大学の山口潤一郎先生より、研究者、教育者のお立場から現場での学術情報の利活用についてご紹介頂きます。実際に図書館コレクションを研究者がどう利活用しているかを知ることにより、利用支援、研究支援のサービスの可能性が見えてくるのではないのでしょうか？

山口先生はご自身でChem-Station(通称ケムステ: www.chem-station.com)という化学者のためのポータルサイトを主宰され、研究・教育に役立つ最先端の情報を収集・キュレーションし、インターネットを使って広報、啓蒙するという活動を長年されています。研究者として、そしてケムステ主宰者としてのご経験から、大学図書館のリソースをどう活用しているか、またさらに効率よく利用するには、どのようなサービスを期待するか、など具体的なお話をお聞かせ頂きます。

図書館という箱から出て、
利用者、研究者にとって「顔の見える」図書館員をめざす方、必聴です。

プログラム

1. シュプリンガー・ネイチャーよりアップデート^(仮)
2. 電子学術資料の利活用^(仮) 早稲田大学理工学術院 山口潤一郎 先生
3. 質疑応答

電子学術資料の利活用

研究者による利用事例と図書館への期待

第18回
図書館総合展
フォーラム
2016

申込みURL www.springer.jp/LF2016



申込み締切 2016年11月9日(水) 15:00

入場無料 (先着100名様)

このセミナーはシュプリンガー・ネイチャーの製品・サービスをご利用いただいているお客様向けです。お客様の参加状況によっては同業他社からのお申し込みはお断りする場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

講演者プロフィール

山口潤一郎

早稲田大学理工学術院准教授。博士(工学)。

2007年東京理科大学大学院工学研究科工業化学専攻博士課程終了後、日本学術振興会海外特別研究員(海外PD)、米国スクリプス研究所博士研究員。2008年名古屋大学理学研究科助教、2012年同大学院准教授を経て2016年4月早稲田大学理工学術院准教授に就任。有機合成化学研究室を主宰して、分子のもののづくりの面白さと可能性を追求する研究をおこなっている。

専門は有機化学、有機合成化学、天然物化学。

大学在学中であった2000年には、ポータルサイト「Chem-Station」(通称ケムステ：www.chem-station.com)を創設。webに混在する化学情報をキュレーションして提供を開始し、代表として運営にあたり、化学最大のウェブサイトに至るまで成長させた。



シュプリンガー・ネイチャーについて

シュプリンガー・ネイチャーは、世界最大規模の学術書籍出版社であり、世界で最も影響力のあるジャーナルを多数発行しています。またオープンリサーチにおけるパイオニアでもあります。私たちは、科学を進展させ、研究コミュニティがより良い成果を挙げられるよう支援することを使命としています。シュプリンガー・ネイチャーのジャーナル・ポートフォリオを通して、研究者、学生、教員および専門家に向けて、科学、技術、医学、社会科学および人文学分野のあらゆる情報へのアクセスを提供しています。

SPRINGER NATURE

お問い合わせ

シュプリンガー・ネイチャー
インスティテューショナル・マーケティング
T 03-4570-6710
F 03-3267-8746
E market@springer.jp